



【下関公演】

歴史×エンターテインメント

下関・関門海峡の魅力を世界へ！

下関市立歴史博物館蔵「馬関戦争図（薩島常興筆）」



Producer

【出演者】



牟田裕 Singer



松浦美穂 Soprano



宮田瞳 Piano

特別出演：雅楽



松本卓 (忌宮神社 権禰宜)

《テーマ：長府藩・馬関戦争・巖流島・藤原義江・狩野芳崖・朝鮮通信使 など予定》

歴史講演&対談：「下関・長府藩・関門海峡、その魅力を世界へ！」 特別ゲストと共に

忌宮神社 所蔵品 特別展示：藩主の笛～長府藩藩主 毛利秀元・元義が愛用した笛（能管）

長府藩家紋



長府藩 11代藩主 毛利元義 愛用の笛に書かれている和歌に作曲・お披露目（歌&笛のコラボレーション）

演奏：松浦美穂 Soprano・牟田裕 Singer・宮田瞳 Piano / 特別出演：忌宮神社 権禰宜 松本卓

《演奏曲目》 さくら横丁（別宮貞雄）、ロマンス（大河ドラマ「武蔵 Musashi」）、梨花雨（Wonjoo Lee） など

【下関公演】 2023.7.23（日） 開場 13時半 開演 14時

蛭遊苑 多目的ホール（山口県下関市長府侍町2丁目6-45）

前売券：1000円（当日券 1500円）

プレイガイド：下関市生涯学習プラザ（細江町）、ウズハウス（阿弥陀寺町）、マガサン（長府南之町）

企画・主催・プロデュース：牟田裕 共催：関門エンターテインメント下関実行委員会

特別協力：忌宮神社 後援：下関市、下関市教育委員会、北九州市、北九州市教育委員会

お問い合わせ：関門エンターテインメント TEL.080-1740-9243

歴史×エンターテイメント について

この度、初めての試みとして、下関・長府・関門海峡の歴史と音楽エンターテイメントが融合した、関門エンターテイメントコンサートを企画しました。「長府藩」「串崎城」「馬関戦争」「巖流島」「朝鮮通信使」などの歴史のお話に付随し、テーマごとに相応しい歌曲などを演奏。より深く想像力を高め、何かを感じていただけるのではないかと思います。また、長府・忌宮神社ご協力により、長府藩初代藩主である毛利秀元および11代藩主毛利元義が愛用した笛(能管)を特別展示していただきます。その毛利元義公の笛に書いてある和歌に、新しくオリジナルメロディーを作曲し、歌と笛によるコラボレーションでお披露目演奏いたします。



長府藩11代藩主 毛利元義 愛用の能管に書かれている和歌

「笛の音の春おもしろく聞こゆるは梅散りたりと聞けばなりけり」

世界に誇る素晴らしい関門地域の隠れた歴史資源を発掘し、音楽エンターテイメントにより光を当て、発信・ご紹介いたします。皆様、新しい感動の発見と楽しみに、是非お越しください。

また、10月15日(日)には対岸北九州市門司区にある、三宜楼2F 大広間にて、「門司港・関門海峡の魅力を世界へ！」というテーマで、北九州公演も予定しています。そちらも、どうぞご期待ください。

Kanmon Entertainment/関門エンターテイメント活動趣旨

私たちが生まれ育った関門海峡は、命の海です。関門エンターテイメントは、関門地域の歴史文化や地域資源の魅力を活かし、「平和」「絆」「慰霊と祈り」「自然との共生」「感謝」「思いやり」のメッセージを、音楽・歌・郷土劇などを中心とした無形の当地エンターテイメントを通じ、平和メッセージや先人の慰霊、歴史発信およびその価値を高め、郷土愛を育み、感動の心で繋がる人と人との絆を深め、地域の未来に繋ぐための活動です。郷土史家や地域住民とも連携しながら地域の課題解決にも取り組み、参加する全ての人々が、生命への深い感謝と優しさに触れることが出来るような活動を目指しています。将来的には、関門海峡の歴史を世界に発信できる芸術文化的基盤を新しく構築するためのエンターテイメント活動です。

<https://yuumuta.jimdofree.com/kanmon-entertainment/>

コンサート協賛募集 《お振込み先》 西日本シティ銀行門司支店 口座番号 3076912

関門エンターテイメント 代表 牟田裕 カンモンエンターテイメント ダイヒョウ ムタクウ



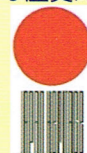
関門海峡は、古来より陸上・海上交通の要衝であり、日本の歴史上重要な転換点の舞台となってきました。平安時代末の源平の戦いや、武蔵・小次郎の巖流島の決闘などは特に有名な物語として今に伝わっています。幕末の下関戦争を契機とした下関・門司両港の開港から経済的な発展、関門鉄道トンネルの開通、そして現在の街並みが作られる約100年間のストーリーが「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として文化庁から日本遺産の認定を受けています。この日本遺産を活用する関門海峡日本遺産協議会は、関門海峡の歴史とこの素晴らしいロケーションを活かした地域の魅力を積極的に発信しています。

〈日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡”～時の停車場、近代化の記憶～」と長府〉

長州藩による関門海峡封鎖と攘夷実行への報復措置として、1863年から1864年にかけて、イギリス・フランス・オランダ・アメリカの四国連合艦隊は、関門海峡沿いの砲台を攻撃・占拠しました。この事件をきっかけに長州藩は開国・倒幕へ舵を切り、関門海峡は諸外国へ開かれ国際貿易港として発展していきます。このことを象徴する場所として、国史跡「長州藩下関前田台場跡」が日本遺産の構成文化財となっています。下関戦争時、長府藩は萩本藩とともに列強と戦いましたが、その際、フランス軍に前田集落を焼き払われるなど大きな被害を受けています。また、高杉晋作らによる「功山寺拳兵」など、長府は、日本の近代化につながる大きな歴史的イベントの舞台となりました。



日本遺産 関門“ノスタルジック”海峡



詳細はこちらから→

連携企画

【北九州公演】 歴史×エンターテイメント「門司港・関門海峡の魅力を世界へ」

※門司港・関門海峡の歴史的魅力を発信

2023年10月15日(日)開演 14時 三宜楼2F 大広間 出演:荒田砂代子 Soprano・牟田裕 Singer・吉松理恵 Piano 他予定